

製品名: ILF3 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe02154**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.53mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 95 kDa; Observed MW: 95 kDa

抗原情報

遺伝子名	ILF3
別名	ILF3; DRBF; MPHOSPH4; NF90; Interleukin enhancer-binding factor 3; Double-stranded RNA-binding protein 76; DRBP76; M-phase phosphoprotein 4; MPP4; Nuclear factor associated with dsRNA; NFAR; Nuclear factor of activated T-cells 90 kDa; NF-AT-90; Translational control protein 80; TCP80
遺伝子 ID	3609
SwissProt ID	Q12906
免疫原	ヒト ILF3 の合成ペプチド

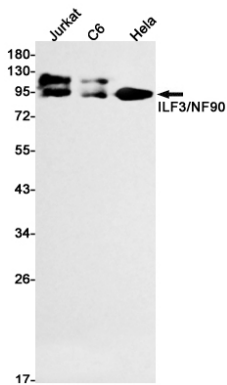
背景

転写後レベルで二本鎖 RNA 制御遺伝子発現を促進する可能性がある。酸性 β -グルコシダーゼ (GCCase) やその他の mRNA のコード配列に結合し、GCCase mRNA の翻訳開始段階で機能する翻訳阻害タンパク質として作用し、おそらくポリソームへの結合を阻害することによって機能する。

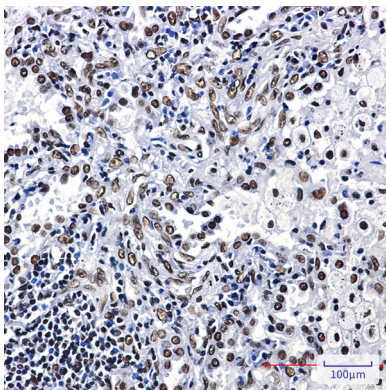
研究分野

シグナル伝達

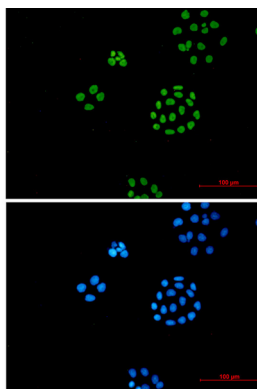
画像データ



ILF3 抗体を使用した、Jurkat、C6、HeLa 溶解物中の ILF3/NF90 のウエスタンブロット分析。



ILF3 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



ILF3 抗体と DAPI (青) を用いた、ILF3 (緑) の HeLa 細胞における免疫細胞化学分析